

(社) 日本精神神経学会

1. 学会の会員構成等

会員数：12,852名(平成19年2月末現在)

精神科医：約98%(含む小児精神科医)

小児科医：約0.08%

他科、コメディカル等：約1.92%

(1)一般の小児科医・精神科医 12,595人

(2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医 0人

(3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師 0人

※日本精神神経学会は、精神科医の基本的な素養を身につけることを目的としており、その意味ではgeneral psychiatristの養成である。

したがって、ここでいう、「(2)子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医」、「(3)子どもの心の診療に専門的に携わる医師」に相当するものの数は把握していない。

2. 対象疾患領域等

・ICD-10のF90～F98に限らず、小児期、思春期の統合失調症、感情障害、神経症性障害など、広く対象とする。

3. これまでの取り組み

・日本精神神経学会「精神科専門医制度」で、専門医になるための研修内容として児童思春期症例を設定している。

児童・思春期精神障害F7、F8、F9

1. 患児及び家族との面接

2. 診断と治療計画

3. 補助検査法

4. 薬物療法

5. 精神療法

6. 心理社会的療法、精神科リハビリテーション、環境調整及び地域精神医療・保健・福祉

7. 精神科救急

8. リエゾンコンサルテーション精神医学

9. 法と精神医学

10. 医の倫理

上記項目毎に目標を設定している。

・学術集会でのシンポジウム、教育講演、研修で「児童に関係したもの」をひとつは選ぶ。

平成15年度

・教育講演「アスペルガー症候群をめぐって」(約200名) 演者：杉山 登志郎

・教育講演「成人になってからのうつ病の発症要因としての児童期成育環境」

(約150名) 演者：北村 俊則

・シンポジウム：

「児童・青年の精神医学—こどもの発達の見点と家族の役割—」(約200名)

- 乳幼児期からの家族支援 演者：本城 秀次
- 学齢期における行動障害をもつ子どもの家族支援 演者：山下 洋
- 思春期の摂食障害と家族 演者：西園マ－ハ文
- 青年期のうつ病と家族 演者：大井 正己
- ・精神医学研修コース「AD／HDの診断と治療」（約100名） 演者：市川 宏伸

平成16年度

- ・シンポジウム「児童青年期精神医療の諸問題」
- 児童青年期精神科入院医療における諸問題（約250名） 演者：山田 佐登留
- 大学病院から 現状と標榜科、要請過程の問題 演者：原田 謙
- クリニックから 現状と民間医療機関における児童青年精神医療 演者：内山 登紀夫
- 医療機関以外から 保健・福祉・教育・司法などでの児童青年精神医療 演者：亀岡 智美
- 海外での経験から－外国での現状と日本精神神経学会の違い 演者：斉藤 卓弥
- ・ランチョンセミナー：「アスペルガー症候群をめぐって」（約250名） 演者：山崎 晃資
- ・教育講演：
 - 「注意欠陥/多動性障害（AD／HD）の診断・治療ガイドラインについて」（約200名） 演者：齊藤 万比古
 - 「思春期の精神療法」（約200名） 演者：西村 良二

平成17年度

- ・シンポジウム「児童精神医学に求められるもの」 (約150名)
- 子どもの心の診療に携わる専門の医師等の養成について
 - －厚生労働省の対応－ 佐藤 敏信
 - セカンドピニオン（NPO）として活動している小児神経専門医の立場から 竹下 研三
 - 児童青年精神科医の立場から 白瀧 貞昭
 - 一般精神科医からみた児童・思春期精神医学 竹内 知夫
 - 小児科医の立場から 村山 隆志、山根 知英子
- ・専門医を目指す人の特別講座「発達障害」（約100名） 演者：市川 宏伸

4. 平成18年度以降の取り組み

平成18年度

- ・シンポジウム「子どもの精神医療の現状と今後の展望
 - －専門医の養成を中心に（厚生労働科学研究柳澤班共催）－
 - 子どもの精神科専門機関の立場から 齊藤万比古、西田寿美
 - 子どものこころ診療部における専門医の養成 原田 謙
 - 小児科における現状と今後の展望 奥山真紀子
- ・精神医学研修コース「思春期の自傷行為」 西村良二
- ・ // 「発達障害の概念と見立て－特に軽度発達障害を中心に－ 松本英夫

平成18年度に委員会「児童精神科医養成に関する委員会」を立ち上げ、「子どもの心の診療医の養成に関する一般精神科医向けの研修テキスト」の作成を行った。また、シンポジウムの企画等の具体的方策を検討し、実施中である。

5. 今後の取り組み

以下の学術集会の企画を計画中である。

平成19年度

- ・ シンポジウム「子どもの心の診療医をいかに養成するか」
山内俊雄、宮本信也、Yuko Kusaka,M.D、山田佐登留
- ・ 教育講演「発達障害と関連の話題」
市川宏伸
- ・ 専門医のための特別講座「児童思春期精神障害（摂食障害を含む）の疾患概念と病態」
齊藤万比古
- ・ 精神医学研修コース
「児童思春期にいる子どもたちに、精神科医（臨床家）はどう向き合うか」
田中康雄、青木省三、村瀬嘉代子